

市議会だより おおまち

189号

令和5年2月1日発行

12月定例会号



議会だよりライブラリーで過去の議会だよりも見ることができます

特集 | 消防団 組織再編と処遇改善…… 2ページ
みんなのひろば…… 16ページ



表紙写真 | 手作りでお正月飾り

新しい年に向かうさぎのお正月飾りを作りました。ぴよんと飛躍の年を願います。
～大町図書館～

撮影者：大庭編集委員



組織再編と処遇改善される

- ◎定数は、769人から456人へ減少
- ◎団員の年額報酬は 18,800円から36,500円に
- ◎出勤報酬8,000円に増額

市では、団員の高齢化や団員数の減少、市外勤務者の増加等により団の運営や活動等に支障が生じ始めていることから、将来を見据えた消防力を確保するとして組織再編や報酬等の見直しを議決したので、概要をお知らせします。
令和5年4月1日から実施となります。

	現行	改正
条例定数	769人	基本団員 456人 機能別団員100人
組織の再編	7分団29部	7分団14部
定年制	定年なし	基本団員 50歳未満 機能別団員50歳以上
団員年額報酬	18,800円	36,500円
出勤報酬(火災)4時間以上	1,600円	8,000円



一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には、各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

会派代表質問



人口減少社会で
生き残る大町をつくる

政務代表 中村 直人が問う

次世代に繋がる 街づくり施策は

答 世代を超え協力できる組織を百人衆会議でつくりたい

Q コロナ第八波、ロシアのウクライナ侵略による物価高騰等により



「百人衆会議」若者の参加も毎回多く、世代間の交流にも重要

Q コロナ第八波、ロシアのウクライナ侵略による物価高騰等により、長期的には当市のブランドを高めるような特産品等の商品開発、販路拡大が必要だ。取り組みは。
A 6月に立川駅南側にオープンした「信濃大町アルプスプラザ」では、当市の特産品や酒類などの販売が行われている。関西地区でも黒部ダムカヌー提供店との連携が進む。海外への農作物の輸出事業も米やりんご、日本酒の販路拡大を進める。
Q 基幹産業である観光業も大きなダメージを受けている。他の観光地に負けない特色・魅力ある観光地づくりを進める。

Q 市民は大きな打撃を受けている。市内経済の活力となる施策は。
A プレミアム率100%の「がんばろう大町応援券2022」は9割近くの市民に使用されている。事業者への支援としては、「新型コロナウイルス感染症対策特別資金」の申請期限を3月末まで延長した他、10月から新たに「景気変動対策経営安定特別資金」を開始、すでに3000万円の融資を行っている。
Q 事業者を支える施策はもちろんだが、長期的には当市のブランドを高めるような特産品等の商品開発、販路拡大が必要だ。取り組みは。
A 6月に立川駅南側にオープンした「信濃大町アルプスプラザ」では、当市の特産品や酒類などの販売が行われている。関西地区でも黒部ダムカヌー提供店との連携が進む。海外への農作物の輸出事業も米やりんご、日本酒の販路拡大を進める。
Q 基幹産業である観光業も大きなダメージを受けている。他の観光地に負けない特色・魅力ある観光地づくりを進める。

Q 市では、団員の高齢化や団員数の減少、市外勤務者の増加等により団の運営や活動等に支障が生じ始めていることから、将来を見据えた消防力を確保するとして組織再編や報酬等の見直しを議決したので、概要をお知らせします。
令和5年4月1日から実施となります。



地域材のブランド化に向け、若手林業者・木工家達が屋台市を開催

各議員の一般質問の様子を大町市ホームページ内の議会中継映像で見ることができ、QRコードからアクセスしてください。



感染時対応のルール作りを

市長ラフ 中牧 盛登が問う

コロナで保育園休園しないのか

答 国の方針を踏まえて、原則休園しない方針である

Q 保育園では、何人の園児や保育士がコロナに感染したのか。

A 市内7保育園の感染者は、昨年度、園児14名、保育士2名であり、本年度11月時点で、園児105名、保育士26名となっている。



走る、飛ぶ、未来を担う子どもたち

Q 保育の現場からは、感染者が確認された場合、一日でも休園でなければ助かるとの声も聞こえるが、部長の耳に届いているか。
A 園長から直接届いている。
Q 休園を判断する人は誰か。
A 民生部長の私が判断する。
Q 小中学校は、同一の学級で2名の感染が判明した場合、学級閉鎖をすることになっている。保育園においても現場が納得するようなルール作りが必要ではないか。
A 毎月開催される園長会の中で意思疎通を図り、効果的な対策を検討していく。

「市民バスふれあい」について

Q 常盤東コースのデマンドタクシーは、一人乗車が89%と異常に高い数値であり、乗合タクシー方式としては問題だ、対策はあるのか。
A 対策はこれから考える。

Q 常盤東コースの課題が解決されていない現状のまま、常盤地区全域をデマンド運行にする検討を始めるようだが、議会が納得できる根拠を示してから、次の段階へ進むべきではないか。
A 指摘の通りである。



学校給食費無料化で、人口流失に歯止めを

日本共産党 大町市議会 宮田 一男が問う

学校給食費を無料にできないか

答 就学援助制度で弾力的に運用している

Q 大町市から、南部地域への人口流失が続いている。要因は何か。

A 転出者アンケートによると、気象条件が考えられる。

Q 松川村では、子育て支援策として、学校給食費に60%助成を行っている



県内学校給食費完全無料化広がる

ている。さらに、今後無料にする動きがある。この10年間で、小学校児童数の減少率は、松川村より大町市が10%多い。市独自策として学校給食費を無料にできないか。
A 就学援助制度の弾力的運用を行っている。無償化は困難だ。

「木質バイオマスボイラーの普及を」

Q 公共施設への木質バイオマスボイラーは、国も推進している。市の施設への導入は、どうか。
A 木質バイオマスの地産地消は、森林整備を推進する上で重要だ。

Q ふたえ市民農園交流促進センター管理棟への導入検討状況は。
A 導入から20年以上経過している。要望も出ており、導入のメリットデメリットを比較判断する。

「地下水保全条例の制定を」

Q 市の水収支に基づいて年間地下水揚水量を設定できないか。
A 当市では、地下水のくみ上げによる地下水位への影響は小さく、年間揚水量の設定は必要ない。

Q 松本盆地の地下水は、大町市のもではない、水資源を後世に残すために地下水保全条例の制定を。
A 環境保全条例で、対応できる。



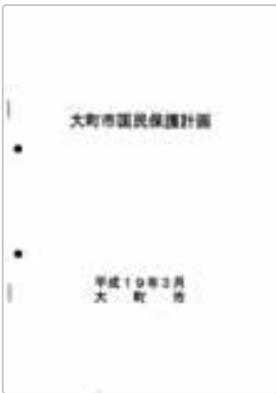
どこに避難し、どう身を守ればよいのか！

政友クラブ 岡 秀子が問う

不測の事態への対応どうなるか

答 自分の命を守る行動を瞬時に判断し動くことが大切

Q 北朝鮮による弾道ミサイル発射が繰り返されている。万一、不測の事態に陥った場合、市民の生命を守る対応策を伺う。
A 事前対策として、市民の生命・身体を最優先した行動の周知



市の国民保護計画では公共施設等35か所が緊急一時避難施設である

徹底を図る。事後の対策は、市内の影響等情報の収集・発信及び、市民生活の再建支援を図る。
Q 市民への周知及び、当市の緊急一時避難施設はどうなっているか。
A 市民への周知は、国からJアラートで各自治体の防災行政無線に直接情報伝達される。市民にはJアラートの認識を持つよう、地域防災学習会やHP等で周知を図る。市の国民保護計画の避難施設は、公共施設・学校等28か所と国道147号地下横断歩道7か所の計35か所が指定。24時間避難可能な施設は、文化会館や小中学校等20施設である。
Q Jアラートが発令時、自分の命を守るための対応はどうなるのか。
A 近くにある頑丈な建物に避難し、窓際から離れ、ミサイル着弾時の爆風や破片による被害を抑える。近くに建物等がない場合は、地面に伏せて頭部を守る行動をとる。車の走行中の場合は、安全な場所に停車し、車から離れて避難する。自分の命を守るための行動を瞬時に判断し行動することが大切である。

他に、災害時要援護者等への避難体制の構築について。小中学生の不登校等への対応について質した。



松糸着工は10年以上先 拙速にことを進めるな

無所属クラブ 高橋 正が問う

松糸道盛り土 模擬壁で検証を

答 住民の理解をいただくため 選択肢となりうる

Q 松糸道市街地区間で計画される新設盛り土構造について、地域住民の納得が得られていない。扇状地特有の高低差の中に土盛りして下側の住民から見れば、北アルプスの景観はどう変わるか。県が示した画像



野口地区予定地あたり。扇状地の下側から盛り土を見上げることになる

では想像できない。現地に模擬壁を造り住民を対象に現場検証したらどうか。
A 理解をいただく一つの選択肢となり得る。

「高瀬土砂排出と大糸線衰退」

Q 高瀬ダムに流入する膨大な土砂の排出処理が問題となっている。JR大糸線は乗客数の減少が深刻で、存続の危機にある。そこでこの土砂を大糸線で運び出し日本海側で活用することを提案する。
A 斬新なアイデア。従来の発想にとらわれない新たな発想が必要。

「サントリー 水汲み上げ倍増」

Q 私は、地下水は限りのある資源だと思ふ。また目に見えなくとも地下水はその地域の自然の一部である。では「自然は誰のものか」と聞かれれば、「その地域のものであり、公共のものである」と考える。現段階ではいくつか定点を決めて地下水位など科学的に調査を始めるべきである。
A 一定の調査はしている。

Q では常盤地区でいくつの調査井戸があるか。
A 常盤香掛地籍で井戸が1本である。

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。
ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



悪臭の解決は
近隣住民の喫緊課題だ

日本共産党
大町市議員
平林 英市が問う

悪臭は根本的に 解決していない

答 両地区ともに臭気指数
基準値を超えている

Q 湯浅産業の悪臭は近隣住宅の
測定では基準値15に対して最大26と
大きく超えている。

A 正規の測定位置を敷地境界から近隣
住宅付近に変えるべきだ。
検討する。



市の自主的測定では臭気指数基準
値を超えている近隣地区

Q 両地区ともに臭気指数基準値
15の条例に違反している。改善命令
を出すべきだ。

A 事業者も対応を重ねているの
で、改善や事業停止等の厳しい条件
付はしていない。

Q 夜間に強い悪臭が出ていると
近隣からの苦情がある。たい肥の攪
拌を夜間に行っているのではないか
間に限っての臭気特定は難しい。

Q 燃焼式脱臭対策はダイオキシ
ン類が発生して排気ガスの不完全が
心配される。

A 塩素を含まない燃料を使用、
適切な設備と維持管理が必要。

Q 土壌脱臭方式は効果的で安全
性が高いとされている。事業者に指
導してはどうか。

A 下水道汚泥や食品残渣を原料
としているので、微生物の共存の問
題があり難しい。

Q 大町上水センターから出た下
水道汚泥はセメント工場の最終処分
場へ搬出して最良な処理をしている。
各地の汚泥を処理して大町市民が苦
しんでいる。これで良いのか。

A 一定の効果がでてきている。
地元対策委員会と協議して臭気問題
の解決を図る。

用語解説

※1 エガリム2法…「農業者の報酬保護のための法律」価格決定の際に「生産費考慮」を義務付ける



地域経済の1%とりもど
し戦略の取り組みを

無所属
大町市議員
大和 幸久が問う

田園回帰1% 戦略検討を評価する

答 人口安定化シミュレーショ
ンなどに取り組んでいきたい

Q 38年後の2060年には大町
市の人口は1万1千人台になると推
計されるなか、藤山氏の田園回帰
1%戦略の取り組みを新年度から取
り組むとする市長を評価する。具
体的な取り組みについて説明を。



同時に=毎年1%の所得を取り戻す
~地域経済循環に取り組む

A 人口や地域経済の循環など、
市の現状を見える化し、地域の課題
や将来の見通しについて、市民・議
員・市職員と共に進めて行く。
新年度は人口分析、将来人口の推計、
人口安定化シミュレーションなど、
市の総合的な診断を行う「地方自治
体診断士研修総合パッケージ」を実
施する。

Q 「1%田園回帰論」の提唱者藤
山氏は人口の1%取り戻しとそれを
支える経済の1%取り戻し戦略も
欠かせない。「地域内でお金が何回
もまわる仕組み」を作ることが重要
と指摘している。令和5年予算編成
で取り組みできるものがあれば実行
すべきだ。

A (市長)地域内でお金がまわる
仕組みづくりは重要だ。投資が何回
も地域に循環して所得に結びつく
ことを念頭に実施していく。

Q 市の地域経済再建に、中小家
族農業の再生は重要だ。フランスの
*エガリム2法は農家の所得を守
るため「販売の際、書面での契約を
義務化」「契約内容を農家が提案」「価
格決定での生産費考慮を義務化」を
盛り込み注目されている。市もこの
実現を発信すべきだ。

A 胸に置き取り組む。



これからの大町農業は
どうなるの？

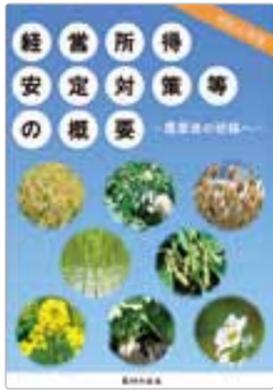
政務官
いっほんぎひであき
一本木秀章が問う

十年後を見据えた 施策を

答 市内の半数以上が農業法
人と認定農業者などに集約

Q 経営所得安定対策で中山間地
農業は守れるか。

A 5年間に一度も水張りが行わ
れていない農地で転換作物が固定化
している水田は畑地化を促進し、水
田機能を有する農地については転作
体型の再構築を促す。また、国から



経営所得安定対策が唯一の頼
み綱、これしかないのは心細い

の詳細な情報を正確に農業者に伝え
る。併行して、県、大北農協と連携
して技術的な対応策を検討する

Q 激変する農業に対する施策は
どうなっているか。

A 肥料・燃料の高騰対策について
は、新たに、肥料経費を支援する補正
予算を可決した。また、農業用機械の
軽油引取税の免税制度がある。その他
色々な制度などについては、制度を周
知するチラシを配布する予定がある。

Q 麦・大豆の増産はするのか。

A 国では、小麦・大豆の国産化
を推進している。今後、国や県の
支援策を積極的に活用して行く。

Q 大町産米粉はどうなっている
のか。

A 米粉の利用拡大に向け、米粉
の特徴を活かし、消費者に受け入れ
られる商品開発や、製造能力の強化、
米粉専用品種の生産拡大に向けた取
組みに対する支援制度の創設を図る。

Q 農業者の高齢化、担い手不足
問題の解決策は。

A 大規模農家等への集積を図り
高収益作物の導入を図る。

Q 地域おこし協力隊の採用は。
A 新規就農希望者が複数いるこ
とから、現時点では採用は検討して
いない。



病院職員の使命感と
誇りは正当な評価から

おおた
しやうじ
太田 昭司が問う

職員に 正当な評価を

答 病院が信頼されるには
職員の適切な評価が重要

Q 患者と同僚を大事にし、真面
目に働いている大町病院職員の皆さ
んが、医療に携わる誇りと使命感、
そしてモチベーションを維持するた
めには職員の正当な評価が必要だ。

A 病院が職員から信頼されるた



健康・医療・介護を包括的に繋ぐ全
人的医療の提供目指す大町病院

めには「職員の適切な評価」が重要で
ある。現在、副院長をトップに、職
員の意欲や主体性の向上、組織の活
性化を目指し「人事評価制度の来年
度の試験運用に向けて構築に取り組
んでいる。

Q 患者と職員のために感染症病
棟の施設などハード面の最低限の整
備を早急に行うべきではないか。

A 他の入院患者や職員の安全確
保のため感染症病棟と一般病棟との
区分けを行っているが、感染症病
棟は構造上、整備が難しい設備もあ
る。スタッフが安全に業務にあたれ
るよう設備の充実を図りたい。

Q 高齢化する大北圏域の医療を
担う大町病院は、今後、緩和ケアを
さらに充実すべきではないか。

A 緩和ケアは、当院でも重要と
考える。現在、総合診療科の緩和ケ
ア医や緩和ケア領域認定看護師を中
心に緩和ケアチームを発足させ専用
病床を確保し取り組んでいる。引き
続き、緩和ケアの充実に努める。

Q コロナ感染者の受け入れで、
一番の課題は看護師不足である。ス
タッフの充実を求めます。

A 十分な人材確保が難しい状況
だが、温かく誠実な医療が実践でき
るよう適材適所の人材配置を目指す。



学校再編には保護者等との信頼関係が必要!

創生みらい 降旗 達也が問う

子ども達のために前向きな再編を

答 良い学校づくりへの気持ちを市民も共有いただきたい

Q 小学校校地決定の過程で、539筆の署名の想いや声を、どう捉えたのか、どう感じたのか。
A (教育長 歴史と伝統ある2小学校に寄せる気持ちは十分拝察をする、教育委員会として全会一致で



新校が市民から望まれてスタートできるよう信頼関係を

議決をしており、本陳情について、私見を述べることは差し控えたい。
A (市長 西小学校に寄せる多くの皆さん個々の深い感慨は胸に染みる思いである。総合教育会議では各委員の考えを直接伺い、教育委員会の決定を尊重する立場で確認をした。
Q 中学校開校に伴う、新規での学級編成に不安を訴える声があるが。
A 基本的に学級編成は各校長に委ねている。両校の生徒が一体となり新たな学校づくりを進めていくには、教育的な配慮からも、これまでの学級編成が不可欠と考える。
Q 担任の人事異動はどうか。
A 一般教員の人事異動は、北安曇郡校長会に委ね素案を作成する。配慮いただくよう要請をしていく。
Q 中学校開校に伴い教職員の拡充を県教委に求めるべきではないか。
A 県教委に基準を超える教員配置を制度化するよう要望してきたが、制度化は困難との回答を受けている。
Q 保護者、児童・生徒にクラス編成等の意向調査はできないか。
A 保護者との個別面談において個々に意見を伺うと聞いている。また改めて調査するより、担任の先生が個別に意向調査を行う方がより精度が高くなる対応となる。



山岳観光にふるさと納税の活用をすべきだ

創生みらい 正幸が問う

山岳観光の再構築をすべきだ

答 国、県の補助事業を活用し山岳観光の維持に努める

Q 鷹狩山にリフトを架け北アルプスを見せ、観光の目玉とすべき。
A 多額な費用で、市が事業者とはなれない。民間事業とすれば実現に協力したい。
Q 自治体によっては、ふるさと



山岳観光のポイントは、山岳の見せ方と発信の仕方が大切だ

納税を150億円以上集めているが大町市は1億2千万円だ。山小屋の宿泊券を返礼品に採用し、山岳観光整備費の充実に充てるべきだ。
A 当市の魅力を発信して、寄付の増額の達成に改善を図っていく。
Q 大町市の改名について
A 市の発展、認知度向上、子どもたちに持続可能な市を引き継ぐために「大町市」「信濃大町」を使い分けせずに「信濃大町市」にすべきだ。市長在職中に改名のスタートをお願いしたい。今がその時である。
地域ブランド調査では認知度は、全国600番以下、県内では19市中15位、魅力度は12位、年々下がっている。最近進出したサントリーも「信濃大町工場」の表示だ。企業にとって認知度は死活問題である。改名後4年経った「丹波篠山市」も改名には、官・民(補助有り)で1億円を掛けたが、経済効果も50億円を越えたという。信濃大町の呼称は長野県に位置することを伝え、耳当たりの良さもある。また、大町市という名称は思う程知られていないのが現実だ。
A 歴史的な経過もあり、現在のところ大町市の名称を改めることは考えていない。

用語解説 ※2中間管理機構…通称農地バンク。「信頼できる農地の中間的受け皿」として、農地の斡旋業務を行う。



松糸道路をまちづくりにどう活かすのか

市民クラブ 大塚 富義が問う

松糸道路の建設は県、活用は市

答 市の発展を支える骨格として全庁挙げて取り組む

Q 市は松糸道路ができた後、どのようなまちづくりをし、地域の活力向上につなげるのか。
A 松糸道路は、市全体の発展を支える骨格軸と位置付け、都市計画マスタープランを見直す。



活力あるまちづくりに向け、将来を見据えた道路整備が望まれる

Q 次回の都市計画マスタープランの作成はいつか。
A 松糸道路の進捗状況を踏まえて策定する。今は明言できない。
Q 関係部署の連携によるまちづくりが必要ではないか。
A さまざまな部署の連携が重要と考えている。
Q 松糸道路を待ち望んでいる市民への今後の対応策は。
A 県では現在、1本の最適なルート案選定に向け整理中。その後、具体的ルートの決定、都市計画の決定、事業化となる。
Q それは県の事業だ。市はどういうまちづくりをするのか。
A 高規格道路の役割は、大変重要であり、関係部署の強化を図り、行政と民間が一体となったまちづくりに取り組む。
Q 市は具体的に何をやるのか。
A まちの発展と道路をきちんと位置づけた中で、施策とプロセスを検討していく。
Q 安曇野北インター(仮称)から糸魚川までの建設の進捗状況は。
A 安曇野北インターから4kmは本年3月に事業化決定。それに続く高瀬川右岸道路18kmは調査・設計中。糸魚川市は一部開通している。



新規就農拡大は、安心できる農業確立が必須

創生みらい 傳刀 健が問う

耕作放棄地の現状と従事者の高齢化率は

答 現在92%、元年比56%増。高齢者は85・1%

Q 農地取得のための下限面積が法改正により撤廃されるが、影響は。
A 新たな営農形態を志向する人が農業を始めやすくなり、遊休農地の再活用も期待できる。
Q 面積要件の廃止により、投機



大雨災害復旧に、高額な自費負担がかかれば離農は防げない

等の営利目的から農地を守るのか。
A 新規就農者が参入しやすくなる反面、法の趣旨維持に向けて、現状のままでは不十分な部分もある。明確な基準を定めるよう、全国農業会議を通じて国に求めていく。
Q 耕作放棄地はかなり増加傾向にある。再生可能荒廃農地を令和元年22%から令和8年10%にするという、農業振興計画の目標値は達成できるのか。
A 毎年、利用調査をし、利用状況確認や所有者の意向確認を行い、希望があれば担い手や中間管理機構へ打診している。また、市の施策でも発生防止と解消に努め、再生困難農地は非農地判断もする。
Q 法改正で新規就農への門戸は広がる。継続が重要。市の取組は。
A 新規就農者への支援、環境にやさしい農業の導入、観光商業などとの連携による6次産業化の推進により、農産物に付加価値を生み出す農業を目指す。
その他、農地農業施設災害復旧支援金の給付条件に係る、中山間地で正確な雨量を図るための雨量計の増設又は条件見直しを国や県に求めるよう質した。

議員が質した12月定例会

こんなことが決まりました！

議案第83号 一般会計補正予算

結果 全会一致で可決

第7弾

信濃おおまち宿泊キャンペーン



議案の概要
1泊1万円以上で2千円割引、定員8千6百人。1泊5千円以上は千円割引、定員2千3百人。国県の宿泊支援との相乗効果を狙う

委員会審査

Q 国の全国旅行支援事業が12月27日まで、今回のキャンペーンが1月10日から2月28日までとのことで、年末年始の期間が対象にないが、入込客の状況はどうか。
A 確認が取れているところでは、比較的好調と把握している。

議案第60号

個人情報保護に関する法律施行条例制定

結果 賛成多数で可決

個人情報保護関連の法・条例が一元化

議案の概要
改正個人情報保護法では、対象に国や地方公共団体・独立行政法人を加え、規律を精緻化する

委員会審査

Q 現行条例では、電子計算組織との結合規定があるが、法施行条例にはない。規定しないのであればどのように情報管理をしていくのか。
A 改正法において、実施機関は個人情報保護の漏洩を防ぐための措置を講じる規定や、第三者利益を害さないよう適切な措置を講じる規定があるため、本条例では規定していない。情報管理については、法の規定に基づき適切な運用を図っていく。

議案第91号 病院事業会計補正予算

結果 全会一致で可決

看護師等の処遇改善

議案の概要
コロナ対応等による時間外手当の増。特殊勤務手当の増

委員会審査

Q 病院の一部病棟で職員のコロナ感染が広がって、業務がきつい状況にあるのではないかと。
A 職員の感染などで勤務できない職員があり、他の病棟から応援を頼むなどで、何とか病院運営をやってきた状況である。
Q 処遇改善では、実際には職員一人当たり、どのくらい引き上げられるのか。
A 10月分の給料から看護師に月1万1千円。その他のメディカルスタッフは月1千5百円の手当を支給する。



コロナ感染拡大で、職員不足の医療現場

陳情第20号 学校における「黙食」の緩和を求める陳情

結果 賛成多数で採択

現段階で「黙食」は妥当か

議案の概要
給食時間は栄養を取るだけでなく、子どもたちの情緒を育て、健やかな成長を促す「食育」としても重要である。「黙食の緩和」を。

委員会審査

賛成意見

正しい感染対策をしつつも子どもたちの利益を考慮しながら、規制緩和とのバランスを考えて、食育としての黙食を確保する。願意は妥当。

反対意見

大人から言われたからやるのではなく、子どもたちが自ら、なぜ黙食をしなければいけないか、理解して一致することが重要。

大人と子どもが一致していない現状では反対。



一般質問で「検討する」と答弁があったあの質問。その後の進捗はどうなっているのか追跡調査します。

追跡レポート あの問題は怎么样了?
あの問題は怎么样了?
追跡レポート

進行中 トレーニング教室で活用

令和4年6月から、平地区、美麻地区で、11月から常盤地区でマシントレーニング教室が通所型介護予防事業として始まった。

確実に効果がある事業だと体感している。



筋トレマシンが眠ってる

質問 眠っているマシンを活用すべきだ

高価な筋トレマシンが6台眠っているが、有効活用すべきではないか。

答弁 検討・調整中である

虹の家への貸し出しも含めて、検討・調整をしている。

次ページは、審議結果と討論

令和4年10月臨時会および12月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」で表示
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案件	議員											結果			
		日本共産	無所属	市民クラブ	政友クラブ				維新	公明	無					
議案第60号	大町市個人情報の保護に関する法律施行条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第61号	大町市個人情報保護審査会条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	大町市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第81号	大町市手数料条例の一部を改正する条例制定について	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第19号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書提出について	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	不採択
陳情第20号	学校における「黙食」の緩和を求める陳情	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

◇全会一致で承認・可決・同意・採択された案件

議案番号等	案件	結果
報告第17号	専決処分の報告について 第26号 令和4年度大町市水道事業会計補正予算(第1号)	承認
報告第18号	専決処分の報告について 第27号 令和4年度大町市温泉引湯事業会計補正予算(第2号)	承認
報告第19号	専決処分の報告について 第28号 令和4年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	承認
報告第20号	専決処分の報告について 第29号 令和4年度大町市一般会計補正予算(第8号)	承認
議案第52号	令和4年度大町市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第53号	令和4年度大町市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第55号	北アルプス広域連合規約の変更について	原案可決
議案第56号	大町市信濃木崎夏期大学の指定管理者の指定について	原案可決
議案第57号	大町市コミュニティセンターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第58号	大町市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第59号	大町市特別職の職員の給与に関する条例及び大町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第63号	大町市消防団条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第64号	大町市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第65号	大町市消防団の設置、名称及び区域に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第66号	大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第67号	大町市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第68号	大町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第69号	大町市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第70号	大町市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第71号	大町市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第72号	大町市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第73号	大町市職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第74号	公益法人等への大町市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第75号	大町市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第76号	大町市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第77号	大町市職員の互助団体に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第78号	大町市職員退職手当特別加給条例を廃止する条例制定について	原案可決
議案第79号	大町市水道事業等企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第80号	大町市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第82号	大町市八坂学校給食共同調理場の設置等に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決
議案第83号	令和4年度大町市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第84号	令和4年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第85号	令和4年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第86号	令和4年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第87号	令和4年度大町市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第88号	令和4年度大町市温泉引湯事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第89号	令和4年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第90号	令和4年度大町市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第91号	令和4年度大町市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決
陳情第21号	免税軽油制度の継続を求める意見書提出について	採択
議事第11号	免税軽油制度の継続を求める意見書	原案可決

討論 沸騰!!

12月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのか、なぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

原案に賛成

社会のデジタル化、効率化を進める中で必要な措置。個人情報の保護措置については厳格に法を遵守し取り組むべき。(中村 直人)

原案に反対

個人情報保護は、自治体の責務。住民が自治体に提供した情報は、民間事業者の利用を目的としたものではなく、保護すべき。(宮田 一男)

個人情報の民間企業利用に疑問。どんな自己情報が集められているかを知る権利「情報の自己決定権」が保障されていない。(大和 幸久)

議案第60号

大町市個人情報の保護に関する法律施行条例について

原案に賛成

公開文書について原則公開の規範理念のもと制定。同時に個人法人等の権利や公共の安全利益も適切に保護する公平な判断が必要。(山本 みゆき)

原案に反対

市民益保護の視点が欠かれない。開示できない条項の列記だが、公正かつ市民益の保護のため「開示できる」規定にすべき。(大和 幸久)

議案第62号

大町市情報公開条例の一部を改正する条例制定について

原案に賛成

条例制定は、一般の個人情報保護法の改正によるもの。弁護士や大学教授、識見を有するもので構成される公平中立な審査会となり、問題はない。(大竹 真千子)

原案に反対

政党などの政治活動制限に危惧をいまだく。個人情報保護審査会の委員は積極的な政治活動を禁止されている。「内心の自由の侵害」であり反対。(大和 幸久)

議案第61号

大町市個人情報保護審査会条例制定について

原案に賛成

コロナ禍で、医療・介護の安全・安心を実現するためには職員の増員と、国の社会保障としての財源支援で給料や手当の処遇改善が必要。(平林 英市)

原案に反対

病院・担当課からは、労働条件の変更は医療・介護体制崩壊の可能性があると説明あり。逼迫する現場に対しては、交付金等による支援を行うべき。(中村 直人)

陳情第19号

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書提出について

原案に反対

手数料100円値引きは姑息だ。強引なマイナンバーカード利用促進策の一環だ。「なりすまし」多発につながり反対。(大和 幸久)

議案第81号

大町市手数料条例の一部を改正する条例制定について

次ページは、お知らせ

意見交換会 大町岳陽高等学校生と開催



令和4年12月23日(金)、大町岳陽高等学校の生徒の皆さんと意見交換をおこないました。

高校生と市議会との初の意見交換会で、市議会の本会議場を使用し、生徒には議員席に座ってもらい議会の雰囲気も感じていただきました。

生徒の皆さんからは、「交通の不便さ」「空き店舗の活用」などに



ついて課題が出され、「まちの中に勉強などができる複合施設がほしい」「市民バスの時間やルートを使いやすくしてほしい」など多くの意見・要望をいただきました。

いただいたご意見・ご要望は、総務産業委員会・社会文教委員会で、不便が少しでも解消されるよう調査・研究をおこなってまいります。

臭気対策特別委員会

臭気対策特別委員会では、この問題に詳しい法律の専門家、梶山正三氏(「ミ弁連、弁護士」)を招いて令和4年11月4日(金)に研修会を開催しました。

演題「臭気対策・議会として何が出来るか」

内容 地域の環境保全は、憲法92条の「地方自治の本旨」でいう自治事務の典型的なもの。地域の環境保全に真に必要な規定は、法令にどう規定があるかが、地域行政の必要に応じて条例化することができる。

「自治事務条例は、地方自治の政策決定が優先される。」との内容でした。



市議会としてはこの講演を参考に、泉地区などの悪臭問題について課題を洗い出し、対応策を考えていきたいと思えます。

政策調整委員会

令和4年11月22日(火)、一般社団法人持続可能な地域社会研究所 所長の藤山浩氏をお迎えし議員研修会を開催しました。

演題「田園回帰の時代と大町市の人口戦略」

2017年と2022年の住民基本台帳のデータに基づき大町市の人口分析をおこなっていただき、現状のまま推移していくと人口の下げ止まりが見えず、高齢化が着実に進み、今後30年で47・6%の人口減という衝撃的な数字が出されました。

現状のまま放っておけば、そのうち安定すると思っただけではダメで、すぐに手を打って



いかなければ、どんどん進行してしまおうとお話でした。持続可能な大町市のために、人口対策は喫緊の課題であり行政だけでなく議会も共に考えていきます。

議会だより表紙の写真も募集します!

年4回(5月、8月、11月、2月)発行の「市議会だより」をより親しまれる広報にするため、表紙の写真を集めます。



募集する写真

○四季折々の風景や、お祭り、地域行事などの各種イベントでの写真。表紙にふさわしい写真。

応募上の条件

○市内で撮影されたものに限りです。
○撮影者自身で被写体ならびに掲載の承諾などを得てください。(人物の場合は本人、未成年者の場合は保護者、個人の所有物の場合は所有者、行事の場合は主催者など)
○応募写真に関する著作権は撮影者本人に帰属しますが、必要に応じてトリミング処理等を行うほか、無償で市議会が使用することに承諾したものとします。
○写真掲載については議会だより編集委員会で審査のうえ決定します。
○表紙として採用されなかった応募写真は、表紙以外の箇所に掲載することもあります。

応募受付方法

○写真は、電子データで1枚につき1応募となります。
○詳細については、事前に電話でご相談ください。(事務局直通TEL22-1139)

意見交換会 大町の未来を考える会と開催



令和4年10月31日(月)、大町の未来を考える会の皆さんと意見交換をおこないました。

大町の未来を考える会の皆さんからは、「松本糸魚川連絡道路に反対しているわけではなく、道路のメリット・デメリットや大町にふさわしい道路にするための話し合いやお互いの考えに対する理解を深めたい」と意見交換会を申し込んでいただきました。

松本糸魚川連絡道路に関しては、参加した議員がそれぞれの考え方を持っている中で、議会としての考え方ということだけでなく、個々の議員の意見をもって意見交換をさせていただきます。

猟友会の皆さんに聞く

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。各地区の猟友会支部長に現在の活動や今後の課題について聞きました。

①会員数 ②今後の課題等



大町支部会長
坂井 義輝 さん

- ① 30人
- ② 会員の高齢化と人材の確保・育成が課題。このような課題を抱える中、今後は地域を超えた会員同士の積極的な協力体制が必要。



平支部会長
西山 俊晴 さん

- ① 21人
- ② 会員の高齢化と人材確保・育成。安全な銃器等の取扱いと法令遵守。ワナの積極的な活用による効率的な駆除。地域の理解と協力が必要。

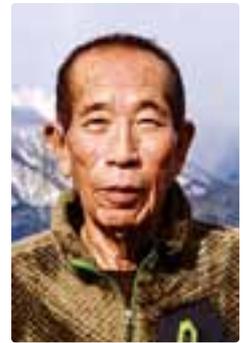


常盤支部会長
中山 靖基 さん

- ① 7人
- ② 人手不足が課題。また、猟友会は現場の経験とともに法的な知識も不可欠。それらを備えた人材育成が大きな課題。

社支部会長
降旗 郁生 さん

- ① 12人
- ② 仕事を持っている若い会員も多く、日中に出動できる人が限られる。地域を超えた協力体制があれば効率的で効果的な活動ができる。



八坂支部会長
勝野 芳一 さん

- ① 17人
- ② 農作物の被害があつてからワナを設置しても被害が減らない。仕事を持っている会員が多く、駆除要請に対応できないことが課題。



美麻支部会長
酒井 孝芳 さん

- ① 22人
- ② 有害鳥獣が増加し、農作物の被害が心配だ。熊やカモシカをワナで捕獲した場合、捕獲対象ではないため放獣しなければならない。



次回3月定例会予定

- 開 会 2月21日(火) 午前10時～
- 一般質問 3月 1日(水)～3日(金)
- 最 終 日 3月14日(火) 午前10時～

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必ずマスクを着用ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

大田市議会 議会中継

本会議の
生中継

あとかぎ

地域では人口減少時代のなかで、子育てや教育に一生懸命です。ところが、先日「子供の声がうるさい」との理由で遊園地を閉鎖するということがありました。子育てはこれでもいいのでしょうか。

私は、子どもの声が聞こえない地域には将来が無いと思います。

(大厩富義)

議会だより編集委員

【委員長】 高橋正 【副委員長】 大竹真千子 【委員】 傳刀健 平林英市 太田昭司 宮田一男 大厩富義